平成25年度　SSHニュース　岡山理科大学附属高校　No.14
北海道研修　（サイエンスゼミ）　2013年９月３日

場　所：北海道立常呂少年自然の家
　　〒093-0216 北海道北見市常呂町栄浦３６５－１
実施日：平成25年8月17日（土）～21日（水）４泊5日　参加生徒８名（男）
講　師：中村圭司　准教授、大学院生TA１名　　引率教員　１名
目　的：岡山にはない自然環境の中で、大学の先生の指導を受けながら自然探究し、科学的知識や野外活動の技能と安全管理を学ぶ。

日程：8月17日岡山空港9:50発－羽田－千歳－札幌14:40－北海道大学キャンパスツアー17:30札幌すみれホテル泊、8月18日バス移動－丸瀬布昆虫生態館研修－常呂少年自然の家泊、8月19日植生と昆虫の関係を探究；トラップ設置、8月20日トラップ設置回収；サロマ湖畔ワッカ原生花園観察；昆虫標本の整理とまとめ、8月21日バス移動－12:30旭山動物園14:00-千歳18:10－岡山空港解散20:30

①北海道大学クラーク先生像
少年よ大志をいだけ！　農学部･ポプラ並木･博物館など見学

②丸瀬布昆虫生態館研修：(北海道紋別郡遠軽町)
生きている昆虫を飼育しながら展示しているのが特徴と、喜田和孝学芸員から解説

③サロマ湖畔の森や草地で地上徘徊性動物を調査、ピットトラップ法5カ所の植生の異なる地点に設置（一カ所3トラップで一晩）、落葉樹林、針葉樹林、草地、湖畔、アツケシソウ群落（サロマ湖湿地の特徴的植物）

生徒の感想

　トラップで、シデムシ、ゴミムシ、オサムシなどを観察した。顕微鏡で見ると少しだけ形が違い、別種と分かった。新種が見つかるような気がした。本気で同定すると夜が明けそうだった。北海道の自然やオホーツク海に出会えて楽しかった。課題研究では、岡山でもトラップを仕掛けて調査してみようと思った。